

家族の笑顔をもっとふやしたい

日本発、ファミリー・ネットワーキング・サービス「FAMIGO(ファミーゴ)」オープン
～ 家族の記録を保存・共有できるコミュニティ～

株式会社デジタルブティック(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:安西 正育)は、家系図づくりをしながら家族で記録や思い出を共有したり、コミュニケーションを楽しめたりする、家族向けコミュニティサイト「ファミーゴ」を2008年内に開設します。



[http:// famigo.jp](http://famigo.jp)

家系のつながり、記録を共有することで、もっと広がる家族のコミュニケーション

少子化、核家族化が進むなか、自分の両親や祖父母、親戚との交流の機会をつくるのは難しくなってきました。

しかし、デジタルブティックが運営する、日本最大級の育児サイト「ベビカム」¹の調査では、「妊娠・出産を機に、家族や親戚とのつき合いが増えた」という方は67%にもものぼり、この時期、育児の相談やお祝いのやりとりを通じて、家族のつながりやその大切さを認識することが多いようです。一方、デジタルカメラの普及等で、家族の記録も増え、その保管や共有のニーズも増えています。

そこで、デジタルブティックでは10年間の「ベビカム」運営や、さまざまな独自のリサーチ結果から見てきた現代の家族の状況をふまえ、そのニーズをもとに、家族の楽しいコミュニケーションを実現するためのコミュニティサイト、「ファミーゴ」を開設するに至りました。

「ファミーゴ」の初年度会員数は、妊娠・出産・育児サイト「ベビカム」等からの誘導により、10万人以上になると見込んでいます。

ファミーゴが実現する4つのソリューション

(印のデータは、1236人を対象とした2008年9月「ベビカム ウィークリーリサーチ」²より)

1 【家族のつながりを改めて確認できる】

*Data*あまりつき合いのない親類との、お祝いや手紙のやりとりに困ったことがある・・・49%
ファミーゴでは、セキュリティの守られたサイト上で簡単に「わが家の家系図」を作成できるので、名前しか知らない・・・という親戚との関係もひと目で把握できます。

2 【家族の記念写真を安全に保管できる】

Data たまっていくな写真やビデオ。遠くの家族にも見せたいけど、送るのが面倒・・・60%

ファミリーゴのストレージ機能を使ってネット上に写真や動画を保管すれば、見せたい人との間で安全に共有でき、家族の記録を通してコミュニケーションが広がります。

3 【家族の状況や予定を共有できる】

Data 配偶者の両親の誕生日を覚えていない・・・62%

妻の父親の誕生日、いとこの結婚記念日等、これから迎える家族・親類の予定を、ファミリーゴがお知らせ。「知っていればお祝いを送りたいけれど・・・」という潜在的なおつき合いを活発にします。

4 【オリジナルアイテムで、記録やコミュニケーションが楽しくなる】

Data 遺暦や敬老の日、祖父母にお祝いを送りたいけど、実際はしていない・・・30%

ファミリーゴでは、家族の写真でオリジナルアルバムを作れるスクラップブックキット、親戚つき合いに便利なグリーティングカード等、コミュニケーションが楽しくなる商品を用意(有償・一部無料)。必要なときにその場で商品をダウンロードして、家庭のプリンタで印刷できる購入方式も設けています。<このサービスは、株式会社デジタルブティックと、エプソン販売株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:平野 精一)による共同事業となります>

<ファミリーゴ 販売商品例> (予定)

- ・記念写真を素敵に保存できるアルバムや、スクラップブック用アルバム素材
- ・行事、おつき合いに使えるグリーティングカード、レターセット、ギフトボックス
- ・家族で楽しめるペーパークラフトや知育コンテンツ
- ・家族の記念日を演出するギフト、記念品類

「FAMIGO(ファミリーゴ)」は株式会社デジタルブティックにより商標登録出願中です。

1「ベビカム」 <http://www.babycome.ne.jp/> 妊娠・出産・育児の情報サイト。1998年開設/月間ユニークユーザ数約50万人/総アクセス数約600万ページビュー。コミュニティ(掲示板)やオリジナル育児日記サービスのほか、医療、生活、商品情報を提供。各分野の大手企業から継続的なご協賛をいただいています。

2「ベビカム ウィークリーリサーチ」2007年より、妊婦・母親を対象に毎週リサーチを実施。社会と育児現場を結ぶ知識循環の好モデルとして、第2回キッズデザイン賞社会貢献メディア賞受賞。

株式会社デジタルブティック <http://www.digitalboutique.jp>

東京都渋谷区渋谷3-26-18 矢倉ビル5F

1996年2月20日設立 / 代表取締役:安西 正育(あんざい まさやす)

「ベビカム」や「ベビカムケータイ」の企画・運営のノウハウを活かし、本田技研工業、日本経済新聞デジタルメディア、NHKエデュケーショナルなど、大手企業のサイト企画・開発・制作・運営のサービスを提供しています。

このプレスリリースに関するお問い合わせ/ご取材申込先

株式会社デジタルブティック 担当:倉本淑子 prs@digiboutique.or.jp

TEL:03-5774-1702 FAX:03-5774-1704